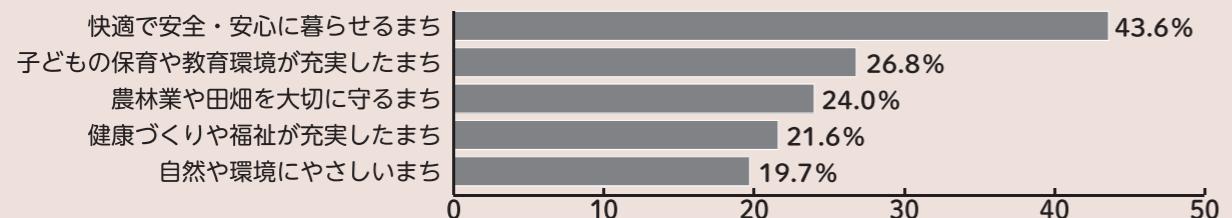


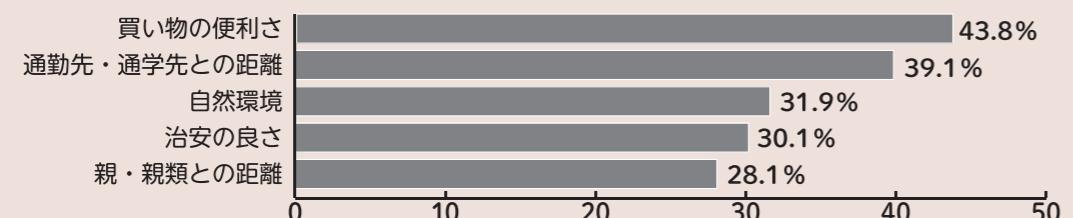
問

まちづくりで重視すること(18歳以上)



問

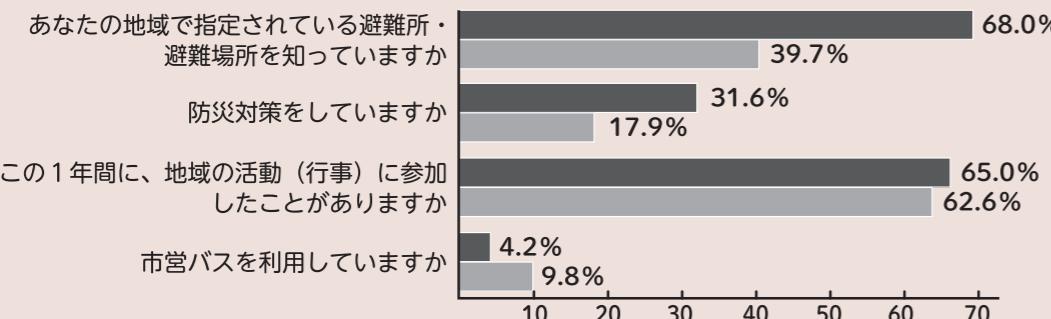
住む場所を決める際に重視すること(18歳以上)



問

日頃の行動について(18歳以上)

「はい」と答えた人の割合
■令和元年度調査 ■平成21年度調査



問

これまでの取組みの満足度(18歳以上)

高いもの	水道(水道施設の整備など) 青少年健全育成 消防・防災対策
低いもの	働く場の確保 商業(商店街など) 工業(地元企業の育成など)

問

今後の取組みの重要度(18歳以上)

高いもの	雪対策(除雪対策など) 働く場所の確保 道路・交通網(道路整備など) 高齢者施策 健康づくり・医療 子育て支援・少子化対策
------	--

アンケート結果から見えてきたもの

全世代で郷土への高い愛着を持っていることや、雪対策を含めた快適で安全安心な環境、充実した子育て・教育環境の整備を望む声が多いことがわかりました。また、前回の調査時(平成21年度)よりも防災意識や地域活動への関心が高まっていることを確認できた一方で、「働く場所の確保」「買い物などの利便性」といった課題も明らかになりました。さらに、「雪対策」や「道路・交通網の整備」、「高齢者・子育てなどの福祉対策」も今後の重要な取組みであると再認識することができましたので、第7次総合振興計画策定にあたっては、このような市民の皆様の声に耳を傾けながら進めてまいります。

お忙しい中アンケート調査にご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。このアンケートで得られた集計結果やご意見等は、計画策定に生かしてまいります。

問総合政策課 政策企画係【内線223】

第7次総合振興計画

【尾花沢市まちづくりアンケート】



調査結果をお知らせします



現在、本市では未来に向けたまちづくりの指針となる「第7次総合振興計画」の策定に取り組んでいます。計画の策定にあたり、市民の皆様が日頃感じていることをお聞きし、今後のまちづくりの参考とするためアンケート調査を実施しました。その概要についてお知らせします。

調査対象

調査対象	18歳以上	高校生世代	市内中学校に在籍する中学生
調査人数	2,000人(無作為抽出)	415人(全員)	406人(全員)
回答率	41.4%	33.3%	96.1%

アンケート調査の結果について(主なもの)

問

「自分のまち」としての愛着度

「とても愛着を感じている」+
「どちらかといふと愛着を感じている」の合計

中学生・高校生世代… **82.0%** 18歳以上… **76.1%**

問

これからも住み続けたいと思いますか



中学生・高校生世代

住み続けたい理由

- 自然が豊か
- 住み慣れた土地
- 人間関係が良い

住みたくない理由

- ◆適当な職場が少ない
- ◆買い物が不便
- ◆スポーツや文化施設が不十分

18歳以上

住み続けたい理由

- 自然環境が良い
- ◆働く場が不十分
- ◆買い物が不便

住みたくない理由

- ◆雪対策が不十分
- ◆働く場が不十分
- ◆買い物が不便